

あじさい彩る名所ににぎわい 新宮あじさいまつり&嶺南あじさい鑑賞会

見頃を迎えた色鮮やかなあじさいを一目見ようと、今年も多くの行楽客が市内のあじさいの名所を訪れました。

6月28日には、富郷町寒川山の下長瀬あじさい公園で「嶺南あじさい鑑賞会」が開催されました。会場では、大輪のあじさいと共に、あめごの塩焼きや各種イベントが来場者を楽しませました。



日本最大の文具・紙製品展「ISO^{ソット}」で 「日本一の紙のまち」の魅力を発信

6月24日から26日に掛けて、東京ビッグサイトで開催された「国際文具・紙製品展（ISO^{ソット}）」に、本市と市内紙関連企業19社が合同で出展しました。

ISO^{ソット}は、国内外から1300社が参加し、4万人以上が来場する日本最大の展示会です。本市は今年も「日本一の紙のまちブース」を設置し、各社自慢の製品や技術を紹介。Made in 四国中央ブランドを全国に向けて発信しました。

会期中は多くの来場者が当ブースを訪れ、活発な商談が行われました。この出会いを通して、本市の認知度向上と新たな販路拡大が期待されます。

出展企業一覧

AIPA	イトウ
イトマン	今村紙工
カクケイ	カミイソ
協和紙工	江南ラミネート
サクラ・シノコウ	多羅富来和紙
トーヨー	はてな企画
ヒカリ紙工	ビューティー・セレクト
富士印刷	本田洋行
モリオト	やまと印刷
山中商事	



社会を明るくする運動が 200人のパレードでスタート

7月は、犯罪のない安心安全なまちを目指す「社会を明るくする運動」の強調月間です。

7月1日に福祉会館で行われた出発式には、運動を推進する37の団体などから約200人が参加。東保育園の園児たちから「笑顔いっぱい」をテーマにした応援メッセージを受け、啓発パレードを行いました。



親子で楽しむ手作り楽器 親子ふれあいフェアが開催

7月11日、福祉会館で親子ふれあいフェアが開催され、親子約80人が参加しました。

イベントでは、段ボールやティッシュ箱などの身近な材料を使ってオリジナルの楽器を製作。親子でアイデアを出し合いながら、楽器作りに取り組み、最後は完成した楽器を使って全員で演奏を楽しみました。



本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



祝 世界での活躍を誓う スカイランニング合田睦美さんが快挙

スカイランニングチーム「Sky Demon」所属の合田睦美さんが、昨年11月に開催された全日本スカイランニング選手権大会において、全体1位となりました。合田さんは、6月30日に市役所を訪れ、9月にスペインで開催されるスカイランニング世界選手権での活躍を誓いました。



祝 やまじ風の観測と地域貢献が評価 三島南中学校気象部がダブル受賞

三島南中学校気象部が、「気象庁長官表彰」と「春季善行表彰（青少年善行表彰）」を受賞し、6月23日に市役所で伝達式が行われました。この受賞は、同部が長年にわたり「やまじ風」の観測を続け、観測資料の提供などを通じて気象業務に貢献し、また地域社会への継続的な貢献活動が評価されたものです。



祝 磨いたダンスで好成績 X・mutualとSAY Aさんが入賞報告

5月10日にしこちゅーホールで開催されたダンスコンテスト「TOP OF STYLE」で、ダンスチーム「X・mutual」（スタジオ・ミュー所属）とSAY Aさん（個人エントリー）が好成績を収めました。
中学2年生から高校3年生までの22人で構成するX・mutualは、ステージ部門の中高一級部門で準優勝。SAY Aさんは、ステージ部門のソロU12部門で3位に入賞しました。
X・mutualとSAY Aさんは、7月6日に市役所を訪れ、大西市長に結果を報告し、コンテストで演じたダンスも披露しました。X・mutualのメンバーは「まだ課題があるので、これからも努力を重ねていきたい」と今後の抱負を語り、SAY Aさんは「次の大会では、優勝を目指したい」と更なる飛躍を誓いました。

写真右・山田井中央フレンズ
同左・土居北JBC



祝 山田井中央フレンズと土居北JBCが 愛媛県代表として全国の舞台へ

4月12日から5月10日に掛けて、県内6会場で開催された「全日本学童軟式野球愛媛県大会」において、山田井中央フレンズが準優勝、土居北JBCがベスト4に入る好成績を収めました。両チームは、8月7日から13日に掛けて、松山市の坊っちゃんスタジアムなどで開催される「全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント」に愛媛県代表として出場します。
選手らはそれぞれ市役所を訪れ、大西市長に全国大会への出場を報告。山田井中央フレンズの選手らは、「愛媛県代表として、一球一球に感謝し、全力で頑張ります」と大会に向けた意気込みを語り、土居北JBCの選手らは、「みなで力を合わせて、一戦必勝で頑張ります」と大会での活躍を誓いました。





大王海運グループが企業版ふるさと納税

大王海運グループ7社から、企業版ふるさと納税制度を活用して、総額9547万円が寄付されました。

7月9日に市役所で行われた贈呈式に出席した大王海運グループの岩井正実代表は、「創業の地である四国中央市の子どもたちが、安全で楽しく過ごせるまちづくりに役立ててほしい」と話しました。



空手 藤川珠丸さんと井川萌さんが快挙

拳龍会拳士塾所属の藤川珠丸さん（中・庄小1年・写真中央右）と井川萌さん（新宮小2年・同左）が、5月に愛媛県武道館で開催された「愛媛県少年少女空手道選手権大会」において優秀な成績を収めました。

藤川さんと井川さんは7月14日に市役所を訪れ、全国大会での活躍を誓いました。



倒壊建物から要救助者を救出 警察と消防が災害救助訓練を実施

6月22日、取り壊し予定の豊岡警察官舎で、愛媛県警察機動隊、四国中央警察署、市消防本部による災害救助訓練が行われました。

訓練は、震度7の地震で4階建てアパートの一部が倒壊した想定で実施。救助資機材を使ったドアの開放やコンクリート壁の破壊、要救助者の救助訓練などが行われました。



学校を超えて白熱バトル 未来型スポーツ「HADO」で交流

6月19日、金生第二小学校で、ヘッドマウントディスプレイを装着し、仮想空間上で手からエナジーボールを放って対戦する未来型スポーツ「HADO」を活用した交流会が開催されました。

金生第二小学校、南小学校、川滝小学校の児童48人が参加し、学校の枠を超えた交流を楽しみました。



書道 甲子園高校生運営チーム「SHIPs」 県知事・メディア各社に大会をPR

7月9日、第19回大会の宣伝を担う高校生7人が中村知事を表敬訪問しました。7人は、新聞やテレビを通じて大会の魅力を伝え、知事と共に観覧を呼び掛けました。

高校生たちは「出場選手の頑張りに応えられるよう、しっかりと準備し、より良い大会にしたい」と意気込みを伝えました。

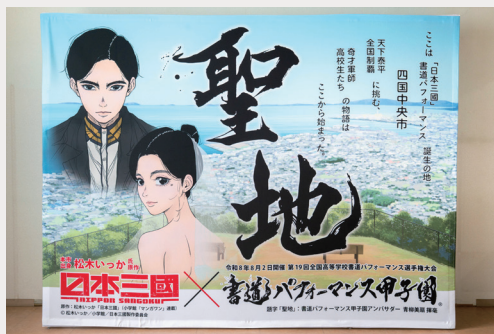


書道 甲子園高校生運営チーム「SHIPs」 松山空港で大会の魅力を発信

7月4日、松山空港旅客ターミナルビル到着ロビーで、第19回大会の宣伝を担う高校生がPR活動を行いました。

空港を利用する人たちに、大会のチラシやパンフレットを配布したほか、昨年度の大会映像を上映。8月2日に開催される大会の前に、その魅力を広く発信しました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、ホームページ「まちの話題」に掲載しています



6月23日、「日本三國」のスタンプリー開催に合わせ、伊予三島駅舎内に本市オリジナルデザインのパネルが展示されました。題字「聖地」は、書道パフォーマンス甲子園アンバサダーの青柳美扇さんが揮毫しています。その他、アニメの場面と市内の風景を見比べられるパネルも展示されています。

「日本三國」オリジナルデザインのパネルを伊予三島駅舎内に展示



6月23日、「日本三國」スタンプリー、四都市巡覧記が始まりました。期間は12月31日まで。チェックポイントの一つである市役所市民交流棟に、主人公・三角青輝と東町小紀のスタンディパネルが設置されました。※愛媛県コンプリート景品（愛媛限定アクリルスタンド、愛媛限定ホログラムステッカー）は配布を終了しています

「日本三國」の世界を巡ろうデジタルスタンプリーが開催中！

写真 新宮町の新瀬川を舞う蛍たち。9枚を比較明合成



初夏の新宮町で、今年も多くの蛍が見られました。辺りが暗くなると、無数の蛍が一斉に明滅し、暗闇に淡い光が舞う幻想的な光景が広がりました。訪れた人たちは、川沿いに広がる光景を静かに眺め、初夏の夜を彩る蛍の舞を楽しんでいます。



川沿いに広がる
幻想的な光
新宮町に蛍舞う

夏と言えば…

夏と言えば、海水浴。夏と言えば、川遊び。夏と言えば、プール。

海水浴と言えば、海の家。川遊びと言えば、キャンプ。プールと言えば、スライダー…

自らの幼少期から少年期や青年期、そして、子育て時代から孫たちとの束の間の時間も含め、夏の暑さを避けるための「水との戯れ」は、枚挙に暇がないほど、爽快・清涼で楽しく懐かしい思い出として脳裡に甦る。我が家の庭で、ビニールプールを膨らませ、冷たい井戸水を張って子どもたちと興じるのも、また趣の異なる醍醐味がある。

海と言えば、瀬戸内沿岸はもとより、太平洋や日本海まで。川と言えば、四国四県をはじめとして山陽から山陰へ。市民プールはと言えば、近隣自治体を中心に調査隊のようにあちこち出かけたものだ。琵琶湖沿岸を巡ったとき、「海水浴場」が無く、どこも「水泳場」というのに違和感を覚えたが、海が無いので当たり前のことであつた。

果たして今夏は、潮浴みをして海の家で午睡をしたり、岩の上から谷川に飛び込んだり、浮き輪に



四国中央市長
大西賢治



乗って流水プールで流されたりする時間に恵まれるだろうか？

かつて愉悦に浸った記憶は、葛藤を呼び覚まそうとして止まない。

我がふるさと四国中央は、「余木崎海水浴場」「寒川豊岡海浜公園ふれあいビーチ」という二つの海水浴場に恵まれている。

法皇山脈の南側には、吉野川の支流・銅山川水系に、自然の水の恵みを受受できるスポットが溢れている。道の駅「霧の森」の傍の川辺も、市の管理施設ではないが、手軽な川遊びの穴場として毎年賑わっており、「交湯館」のお風呂や喫茶「茶フエ」をはじめ「霧の森」の各施設もご利用戴いている。

伊予三島市時代に開設された伊予三島運動公園プールも、40年を越えて昨年、企業版ふるさと納税のご芳志のお力によりお色直しができ、今年も大盛況である。

梅雨明け前後の夏空の下、二つの海水浴場と市民プールで、それぞれお世話になっている団体が安全祈願祭を催して下さった。神の力でも仏の力でも、あらゆる力をお借りして水の事故は防ぎたい。